



上石小だより

～やさしい子 かしこい子 たくましい子～

第2号

平成26年5月1日
練馬区立上石神井小学校
校長 高橋 忠太郎

地域の学校

校長 高橋 忠太郎

上石神井小学校は、昭和29年の開校から満60年となり、この4月から61年目をスタートしました。本年11月8日には、開校60周年を祝う記念式典と祝賀会の開催が予定されています。

昭和29年といえば、青函連絡船「洞爺丸」の転覆やアメリカの水爆実験による「第五福竜丸」の被爆など大きな事故がありました。また、「第1回全日本自動車ショー」が開催され、車の大衆化に向けて自動車教習所が大人気だったそうです。昭和22年生まれの「ベビーブーム」世代255万人余が小学校に入学した年でもあります(ちなみに、平成25年度入学者数は109万人弱)。昭和27年には、サンフランシスコ講和条約が発効して日本の独立が回復し、昭和31年には経済白書の「もはや戦後ではない」という言葉が有名ですが、昭和29年という年は、戦後の混乱期から脱して復興に向かうエネルギーのようなものを感じます。

本校は、まさにベビーブーム世代が入学する、その年に開校したわけです。開校50周年の記念誌に、50周年行事の実行委員長だった田中喜一さんが、次のように綴っておられます。「当時開校するのにあたって、関町地区か、上石神井地区かに小学校を設立する案ができました。その結果、数ヶ月後、この上石神井地区に決定しました。そのときの喜びは、大変なものでした。」と。上小の開校にあたって、地域の方々の喜びがひしひしと伝わってきます。そして、畑の畝が残る校庭の雑草を地域の方々が取り、校庭を整備して下さったことも書いてあります。この60年、上小は、このような人々の思いに支えられ、発展してきたのだということに思いを馳せるとともに、学校は「地域の学校」であるということに再認識した次第です。

さて、開校60周年記念行事の開催に向けては、地域諸団体や保護者の方々により実行委員会を組織していただき、3月29日と4月26日に実行委員会を開催しました。60周年記念行事の実行委員長に尾崎藤雄上石神井町会長、相談役に湯山茂上石神井商店街振興組合会長に就任していただき、各係の責任者には、副実行委員長として、各団体で重責を担う方々に就いていただきました。今、あらためて、この上石神井の地域の力を感じているところです。学校としては、周年行事を大成功させるとともに、学校の使命である、子どもたちの学力や豊かな心の育成をしっかりと図ることによって、このご恩に報いていきたいと思っております。

5月行事予定

- 1 (木) 視力(1年) 遠足(4年)
- 2 (金) 【5時間授業(6年)】
移動教室保護者会(6年)
- 7 (水) 内科検診(1. 4. 6年)
- 8 (木) 【火曜時間割】
寄生虫検査回収日(未提出者)
- 9 (金) 尿検査2回目(未提出者)
- 12 (月) 委員会 避難訓練
- 15 (木) 歯科検診(1・4・6年) 地域めぐり
- 16 (金) 【4時間授業 下校13:15 A】
尿検査2次(該当者)
- 19 (月) 地域めぐり

- 20 (火) 下田移動教室始(6年)眼科検診(1~5年)
給食費引き落とし
- 22 (木) 歯科健診(2. 3. 5年)
- 23 (金) 下田移動教室終(6年)
【B時程】給食試食会
- 26 (月) クラブ
- 27 (火) 眼科検診(6年)
情報モラル講習会(5年、保護者)
- 29 (木) 長い昼休み 水道キャラバン(4年生)

6月前半行事予定

- 2 (月) 委員会 ヤゴ取り(3年)
- 3 (火) ヤゴ取り予備日(3年)
- 4 (水) セーフティー教室(3・4年)
プール前検診(該当者のみ)

今月の目標

友だちとなかよくあそぼう

新学期が始まってからひと月が経ちました。進級して新しい学年、新しい教室、新しい友だち、新しい担任の先生など4月は大きな変化がありました。そんな変化に慣れ始めると、いろいろな場面でトラブルも始まります。今月の生活目標は、「友だちとなかよくあそぼう」です。学校はきまりを守って多くの友だちと楽しく生活する場所です。遊びにもルールがあります。どうしたらみんなで楽しく遊べるのか、子どもたちが自主的にルールや工夫を考えることもあります。遊びは大きな学びの場です。天気の良い日は外で元気に遊び、友だちの輪を広げてほしいと思います。今月も子どもたちの楽しい声とたくさんの笑顔が見られる上石神井小学校にしていきたいと思っております。